



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

森田知事

線路使用料の明確化が先決

北総鉄道運賃問題

印西市選出の滝田敏幸(たきた・としゆき)県議は、一期目の任期折り返しに当たる六月定例県議会で、早くも六度目の一般質問に登壇し、予算委員会質疑も含めると本会議場での質問戦登壇は、異例の七回を数えることになりました。また、滝田県議は、総合企画水道常任委員会の副委員長に就任しました。

滝田県議は、懸案の北総鉄道運賃問題で、この解決には、線路使用料の明確化が先決だと強く主張し、県も同様の見解を示しました。また、森田知事が先頭に立って、国や鉄道事業者へ働きかけるべきだとの滝田県議の発言に、知事は「国等へ要請に行くことになれば、私が直接行くことも考えたい」と、知事としてのリーダーシップを発揮し、積極的に対応する考えを表明しました。その他の質疑と合わせ、1、2面で特集します。

印西市特集 6月県議会 一般質問



本会議場で6度目の一般質問に登壇した滝田県議

滝田議員 北総線運賃問題解決のため、県を含む自治体が支援の内容を検討する場合にも、線路使用料の明確化が先決であると考えられているか。

総合企画部長 さる四月二十四日に開催した沿線市村の副市長クラスの会議後、沿線市村に赴き、意見を聞いたところです。その中で、線路使用料の明確化が必要との意見が出されているところ。

このことから、県としては県と沿線市村が一体となるためにも、線路使用料の明確化が必要ですので、現在、国等に対して要請を行

「国への要請は私が行く」

つていこうです。

滝田議員 運賃値下げを実現するために、時機を失さないよう、国土交通大臣や鉄道事業者に要請を行うべきと思うかどうか。

森田知事 成田新高速鉄道の開業は、北総鉄道の運賃問題の解決に際し、大きな契機になると考えています。このため、成田新高速

滝田議員 県がリーダーシップを発揮して問題解決するために、森田知事が直接、国や鉄道事業者に要請していき、べきと思うかどうか。

森田知事 この問題を解決するためには、まずは、沿線市村と運賃値下げの考え方をまとめたかと考えています。

沿線市村が値下げということ、しっかりとまとまらないとだめです。それと、私たちが思っている以上に、京成はハードルが高い。しかし、もう日にちがない。はつきりして、水面下でいっているやっています。でも、ここで変化球も含めて、今、一歩でも小さな穴でも開け

鉄道運賃認可申請の時期を見据えながら、沿線市村と一体となつて、運賃値下げの考え方をまとめて、国や鉄道事業者に要請したいと考えています。

とおかないと、将来一円たりとも値下げにならない。そういう意味でも、私たちが大変重要な時期に来ていると思っています。

その後、国等へ要請に行くことになれば、私が直接行くことも考えていきたいと思えます。

北総鉄道の運賃引き下げに係わる具体案を詰めていくに当たり、沿線市村が一般財源を投入するのであれば、県としても補助金、すなわち「真水」(財政出動)を投入するなど、積極的に取り組んでいただきたい。このことは、強く要望する。

たきた敏幸・公式HP
 ブログ・毎日更新中!
<http://www.takinowa.com>
 滝田敏幸 検索

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 昭和35年2月 印西市(現印西市)大森生まれ 大森小、印西中、我孫子高校卒業
- 昭和57年3月 同志社大学卒業
- 昭和61年5月 滝田洋品店取締役
- 平成11年4月 印西市議初当選(2期)
- 平成19年4月 県議初当選

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会副委員長 議会運営委員会委員
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 政務調査会委員 青年局広報委員長
- 印西市消防団副団長
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

総合企画水道常任副委員長に就任

千葉県・印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たきた敏幸事務所 〒270-1326 印西市木下1521-125 2F
 TEL.0476(37)4173

成田・羽田間のリニア新線は有意義

印西市特集 6月県議会 一般質問

県独自に中心市街地活性化を！

滝田議員 県内各都市の中心市街地が空洞化していることから、新しい中心市街地活性化法が平成十八年から施行されていますが、新法では選択と集中により、千葉市や柏市など誰もが認める中心都市しか利用できなくなっています。このため、活性化法による取り組みだけでは、県民の身近にある市街地が見捨てられ、空洞化が一層進んでしまうと、私は危惧しているところです。

要望 私は、堂本県政の時代から、この問題を何度も取り上げてきましたが、議論がまとまらず、まもなく、県執行部には、中心市街地の問題に関心をもちたい。現時点でも、県内二十自治体が、中心市街地活性化基本計画を策定しているのです。

今こそ、活性化法の枠を超えた取り組みが必要と考えます。県として、中心市街地の活性化に総合的に取り組むため、ビジョンを策定すべきではないか。



新知事に就任した森田健作氏と、2月16日に北総線と成田新高速鉄道を視察しました

滝田議員 森田知事はマニフェストで「成田・羽田両空港を約十分で結ぶリニアモーターカーの実現」を掲げています。

両空港間のアクセス改善重要

私としても、成田空港の機能強化に向け、両空港間のアクセス改善は重要と認識しています。成田・羽田両空港の一体的活用とリニアモーターカー、成田新高速鉄道整備事業の基本的な考え方について、伺いたい。

北千葉道路、25年度完成予定

滝田議員 北千葉道路は、国の都市再生プロジェクトにおいて、首都圏北部と成田空港間のアクセス時間を大幅に短縮する新たなルートとして位置づけられています。

概略設計へ向け検討

千葉・柏道路計画

滝田議員 千葉ニュータウンから西側地域の幹線道路は、慢性的な交通渋滞に悩む国道16号だけで、この状況を解決するには、国道16号千葉・柏道路計画を進めていくことが重要ですが、千葉・柏道路計画の取り組み状況はどうか。

地元のために
地域の信念を持って
たきた敏幸県議

このうち、交通渋滞が多発している白井市谷田から印旛村鎌苅までの約十キロについては、平成十九年度から北総鉄道沿いの掘割部



自民党畜産議連の一員として東総地区を視察する滝田県議